乳房の手術を受けられる患者様へ

患者氏名：@PATIENTNAME　様(ID：@PATIENTID　)　生年月日：@PATIENTBIRTH　性別：@PATIENTSEXN　　説明日：　　説明者：

	入院日（　/　）	手術当日（　/　）	
		手術前	手術後
食事	・夕食までは食事の制限はありません。 ・24 時以降、食事・固形物は摂取しないで下さい。水・お茶は摂取して頂いて構いません。	・（　　：　　）以降は飲んだり、食べたりできません。 	・飲んだり食べたりすることはできません。 ・午前中に手術をした方は、帰室後 4 時間経過したら水を飲むことができます。 ・術後初めて水を飲む際には看護師付き添いのもと行います。
安静	・特に制限はありません。院内でお過ごしください。		・ベッド上安静です。 ・午前中に手術をされた方は、帰室後 4 時間経過したら歩行可能です。（初回は看護師が付き添います）
検査 処置	・外来で医師が乳房に注射をします。 ・入院後、手術をする側の腕の動く範囲を確認いたします。 ・夕方にセンチネルリンパ節の撮影があります。	・体温や血圧の測定を行います。	
内服	・普段内服している薬をお持ち下さい。薬剤師が確認します。中止するように言われている薬は指示があるまで中止です。	・医師の許可があった薬のみ内服してください。	・内服は、医師の許可がある分を看護師がお配りします。
点滴	・点滴の管を入れます。	・朝から点滴を行います。	・手術後は持続で点滴を行います。
その他	・入院時、手術についてのオリエンテーションを行います。 ・手術に必要な書類を確認します。 ①手術同意書 ②必要時、行動制限の同意書 ・手術室の看護師による術前訪問術前診察があります。 ・必要物品⇒①T 字帯 ②その他、入院案内をご参照ください。	・術衣、T 字帯をつけて手術室に入室します。着替えは看護師がお手伝いします。 ・患者様が手術室に入室されましたら、ご家族の方は手術の間は、病棟のラウンジでお待ちください。 	・医師から手術の結果について、ご家族様に説明があります。 ・術後は尿の管が入ってきます。 ・酸素マスクを装着し血栓予防のため両足にマッサージ機を装着します。 ・心電図と酸素の濃度を測る器械をつけます。 ・痛みがある場合は看護師に遠慮なくお伝えください。 ・手術の状況で胸もしくは脇の下に管が入ってくることがあります。 ・胸に傷を覆うバンドを巻くことがあります。

状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点などがありましたら、お気軽にお尋ねください。　　東京歯科大学市川総合病院　　2025/8/1

患者氏名：@PATIENTNAME　様(ID：@PATIENTID　)　生年月日：@PATIENTBIRTH　性別：@PATIENTSEXN　　説明日：　　説明者：

	手術後１日目（　　/　　）	手術後２日目（　　/　　）	術後３日目～退院日まで
食事	・朝から食事が始まります。	・食事の制限はありません。	
安静	・朝から歩行することができます。(初回は看護師が付き添います)	・院内でお過ごしください。	
検査 処置	・朝、お部屋で医師の診察があります。 ・傷を覆うバンドは医師の指示で外します。	・特に検査や処置はありません。追加になる場合はその都度ご説明します。	
内服	・手術前に内服していた薬は、主治医の指示があるまで中止となります。 ・痛み止めがある場合は、痛み止めの薬をお渡しします。		
点滴	・水分が飲め、歩行が出来れば点滴は終了となります。	・点滴はありません。	
その他	・心電図と足のマッサージ機を外します。 ・医師の指示で酸素を外します。 ・蒸しタオルで体を拭き、着替えをお手伝いします。 ・歩行ができれば尿の管を抜きます。 ・手術をした側の腕のリハビリについて、別紙パンフレットに沿ってご説明します。 ・胸の管を挿入したまま、自宅退院となる場合は中身の捨て方、管の固定の仕方を看護師と共に練習していきます。	・手術をした方の腕がどの程度動くか確認します。 ・パンフレットに沿って、リハビリを進めてください。 	・リンパ郭清をしていない場合、手術側の腕の制限はありません。血圧や採血なども行えます。 ・屯用で痛み止めを内服する場合は最低でも6～8時間あけて内服するようにしましょう。 ・退院後の生活の注意点について別紙パンフレットに沿って説明します。 ・傷口に問題が無ければ、シャワーに入れます。傷口は石鹸をよく泡立て、優しく洗ってください。 ・退院時に次回の外来について説明します。

状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点などがありましたら、お気軽にお尋ねください。　　東京歯科大学市川総合病院　　2025/8/1